

教材分析シート

(2) 年 (月) 組 授業者 (清水 弥生)

教材名

ぼくのうちの夕はん (文溪堂)

内容項目

家族愛・家庭生活の充実 C (13)

ねらい

お父さんとお米とぎの練習をし、やる気になったまさおの気持ちを考えることを通して、父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立とうとする道徳的心情を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

まさお

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

お父さん

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	まさおは、お母さんにお手伝いを頼まれるけど、嫌がる。
助言者の登場	まさおは、お父さんに「お米がといであるとお母さんが助かると思うんだけどな。土曜日に練習してみよう。」と言われ不安ながらも承諾し練習をする。
転 (道徳的変化) After (変化後)	まさおは、家族のためにお米とぎのお手伝いを続けようという気持ちになる。

④ 一文読み (要約)

お母さんにお手伝いを頼まれ嫌がっていたまさおが、お父さんとお米をとぐ練習をしたり、両親に感謝されたり褒められたりする中で、「明日からお米をとぐのはまかせてね。」と言えるようになった話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」 「だめだよ。」と言ったまさおはどんな気持ちでしたか。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 「明日から、お米をとぐのは、ぼくにまかせてね。」と元気よく言ったまさおはどんな気持ちでしたか。
補助発問 (あれば)	「いつも米とぎをしてくれているのはだれですか。」「お父さんとの練習でまさおはどんなことを考えましたか。」
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	→おさえの発問(「〇〇って何だろう?」、手紙、ふり返り等) お手伝いをすると、どんな良いことがありますか。

